

研究課題：胆道閉鎖症における血清 matrix metalloproteinase-7 の臨床的有用性に関する研究

1. 研究の目的

胆道閉鎖症（BA）の生存率向上と肝移植回避には、早期診断と早期手術が重要です。早期診断や肝移植を予測できる非侵襲的なバイオマーカーはまだありません。血清 matrix metalloproteinase-7 (MMP-7) は BA の診断バイオマーカーとして有用な可能性があるものの、本邦では全く検証されていないのが現状です。そこで、血清 MMP-7 の測定法を確立し、本邦における BA 診断にも有用か検討します。

2. 研究の方法

先行研究である「小児肝・神経疾患におけるオキシステロールの病態解析とバイオマーカーとしての可能性」の研究に参加することを同意され、検体採取させていただいた、同意取得当時生後 6 か月未満の胆道閉鎖症を含む肝疾患の患者様および健常児から採取した血清の残血清を用いて MMP-7 の測定・解析を行います。

3. 研究期間

倫理委員会承認された後から令和 7 年 2 月 28 日まで

4. 研究に用いる資料・情報の種類

試料：前述の研究で採取・分析した血清の残血清（凍結保存血清）。

診療情報等：診断名、年齢、性別、症状、血液検査、病理検査、合併症、手術所見、経過など。

授受の方法：郵送・宅配 電子的配信 直接手渡し その他（ ）

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

患者様の情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用し、研究代表施設の久留米大学病院小児科に情報を提供いたします。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる情報は含みません。

6. 研究組織

研究代表施設と研究責任者

久留米大学医学部小児科 当院研究責任者	講師	水落 建輝
埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科 研究参加施設と研究分担者	科長兼副部長	岩間 達
九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野	准教授	松浦 俊治
自治医科大学消化器一般移植外科	講師	眞田 幸弘
東北大学小児外科	講師	佐々木 英之
名古屋大学大学院医学系研究科小児外科	講師	田井中 貴久
順天堂大学小児科・思春期科	准教授	東海林 宏道
順天堂大学小児外科・小児泌尿生殖器外科	准教授	宮野 剛
東京大学小児外科	教授	藤代 準
株式会社 LSI メディエンス	代表取締役社長	渡部 晴夫

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年2月まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）
当院研究責任者：岩間 達